

令和5年度 「広陵町における協働推進事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の値	目標の値	本年度の値	実績の値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
広陵町	②学校と地域の課題	通学路等の地域安全・地域防災	昨今の報道にもあるように、いつ平穏が破れることがあるか分からない現代であり、道路の拡張工事や周辺整備が随時おこなわれていることに伴い、より一層の子ども達の安心安全に対して地域の意識を高める必要がある。	安全対策に必要な備品の確保、また地域への随時情報発信及び地域の方への声掛け(挨拶等)の徹底。	各地域の危険箇所のすべてを地域と学校が共有し、また声掛け(挨拶)で子ども達と地域の方のつながりを深める。	各地域の登下校時危険箇所(見通しが悪い・工事中等)を示し、地域の方もしくは教員が立哨できている箇所数	60	%	70	71	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーター等がボランティア確保に向け活動したことで、新規に安全指導(見守り等)ボランティアが全体で56名増加した。 ・ボランティア数が増加したことで、立哨が必要な箇所への配置が可能となった。 ・学校毎でボランティア数に大きく差が生じており、立哨が必要な箇所全てをカバーできなかった。
広陵町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	登録者のボランティア活動内容に偏りがあり、学習支援等でボランティアを募り地域と学校の繋がりを構築する必要がある。	既存のボランティアへの依頼に加え、内容に応じたボランティアの募集(情報共有やチラシ、広報への掲載)を行う。	学習支援や体験学習において、人員不足なく子ども達ひとり一人に指導が行き渡る人員の確保	各学校における学習支援・体験学習等に見合った人員確保数	50	%	60	62	3	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生の学習支援ボランティアが増加し、教員だけでは困難な部分の支援を行うことができた。 ・上記と同様、学校毎にボランティア数に大きく差が生じており、協力者が少ない学校の学習・体験学習支援に関わる地域住民の確保が必要である。 ・今後、学校や地域コーディネーターと連携しながら、地域住民同士の参加促進や活動内容等の周知を登録者確保に努める。